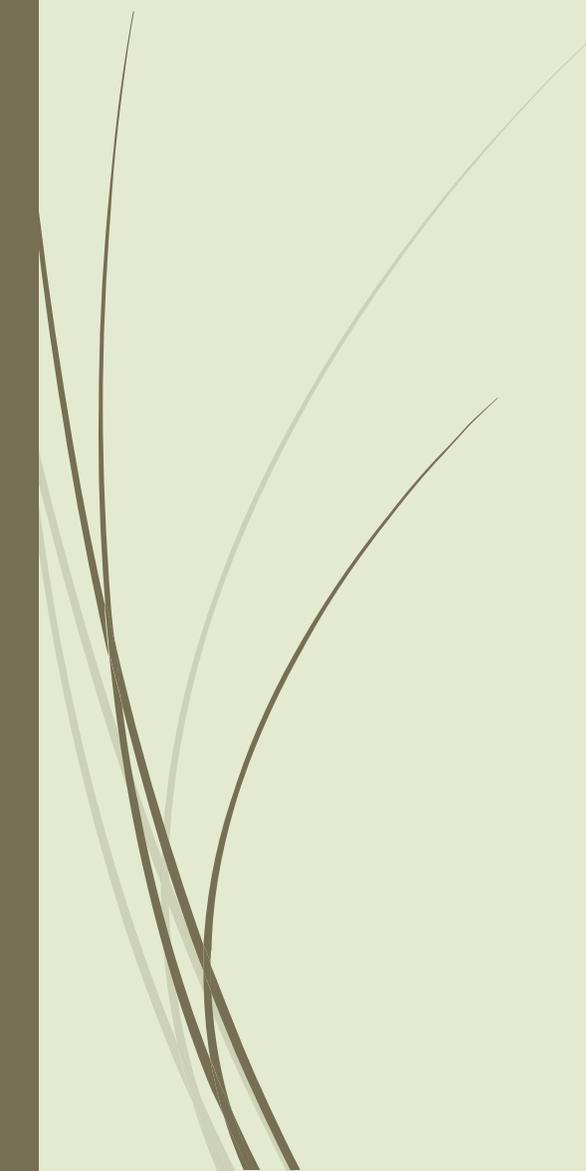




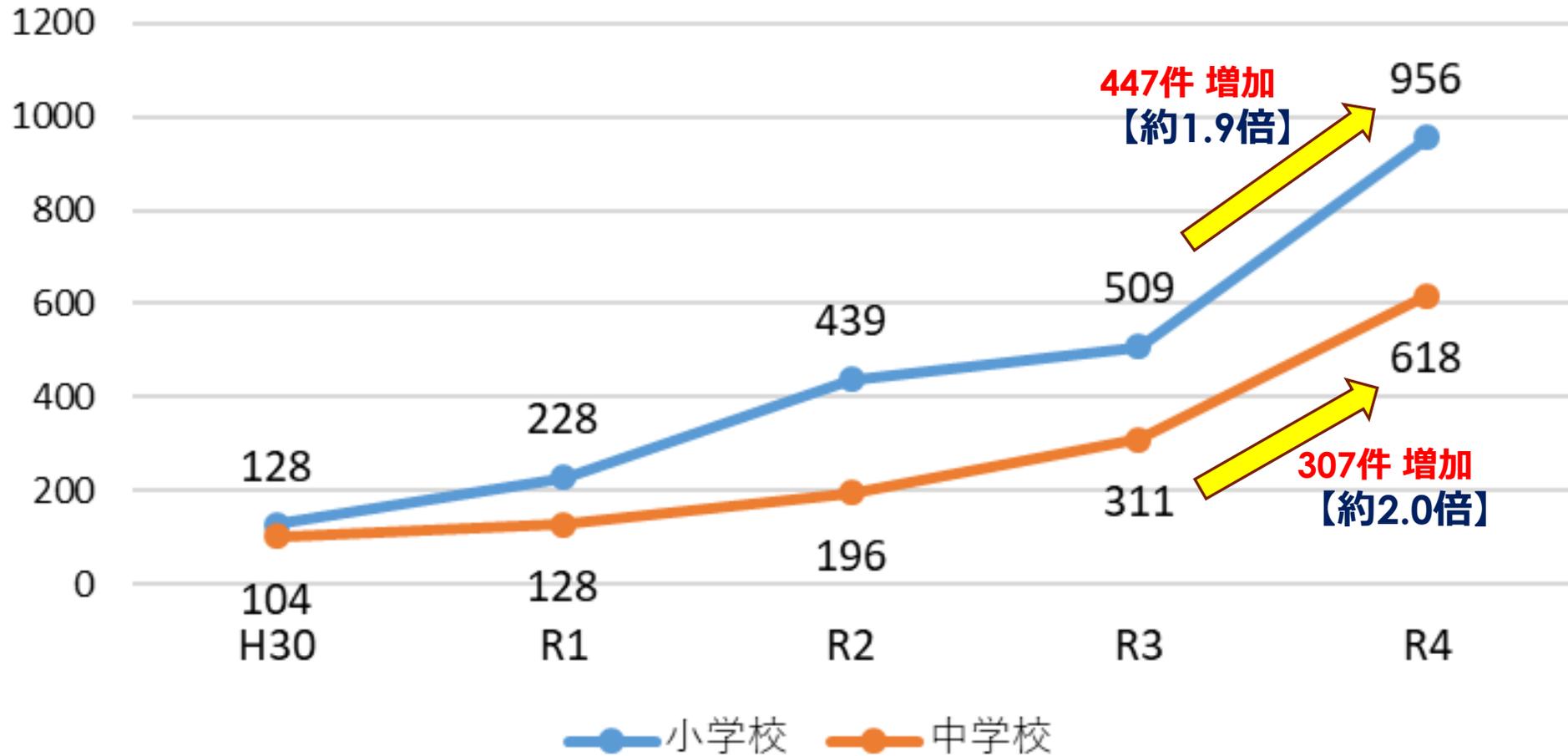
令和5年度 第1回 草津市いじめ問題対策連絡協議会

令和5年9月21日(木)
10時00分～11時30分
市役所6階 教育委員会室



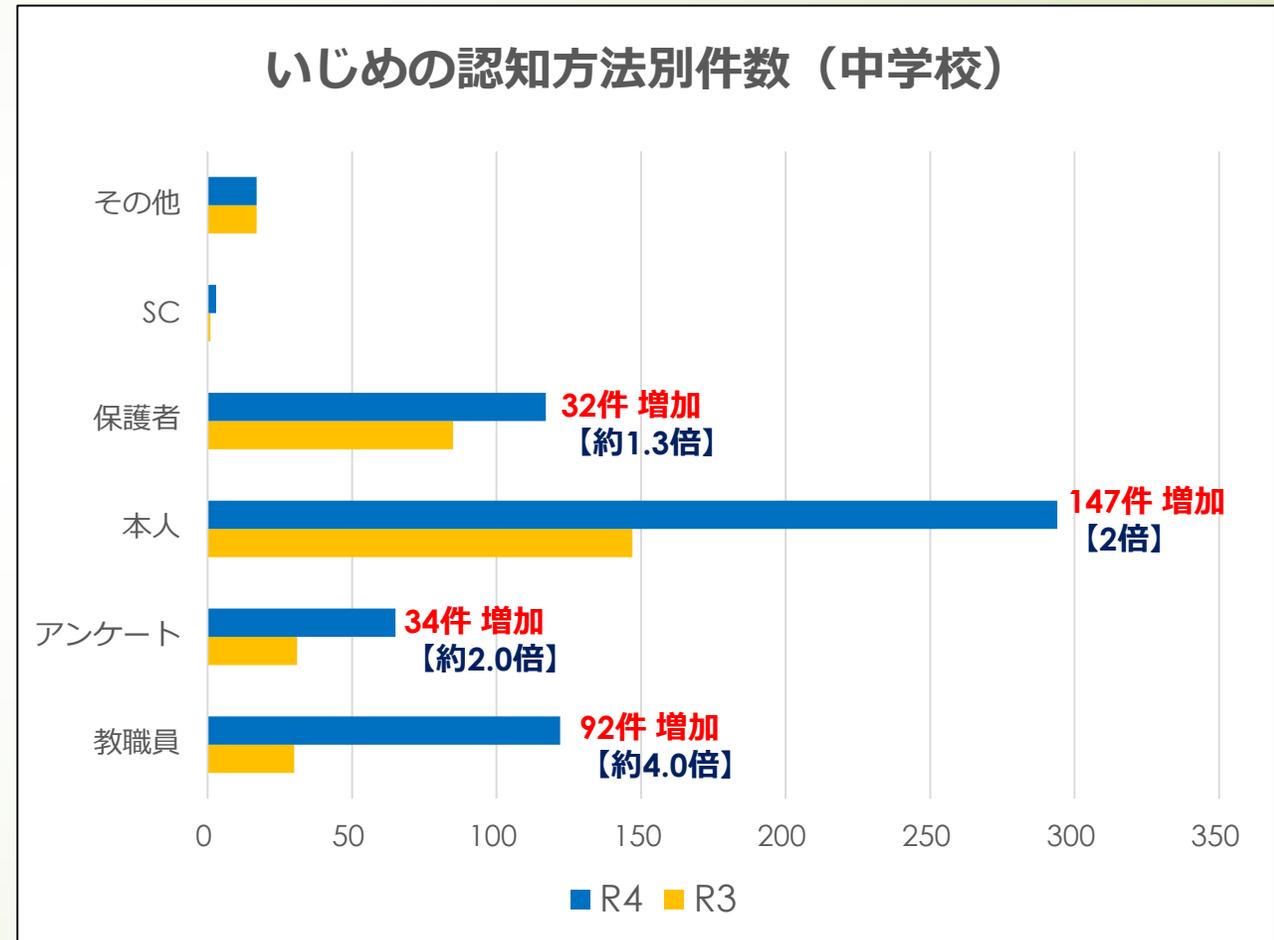
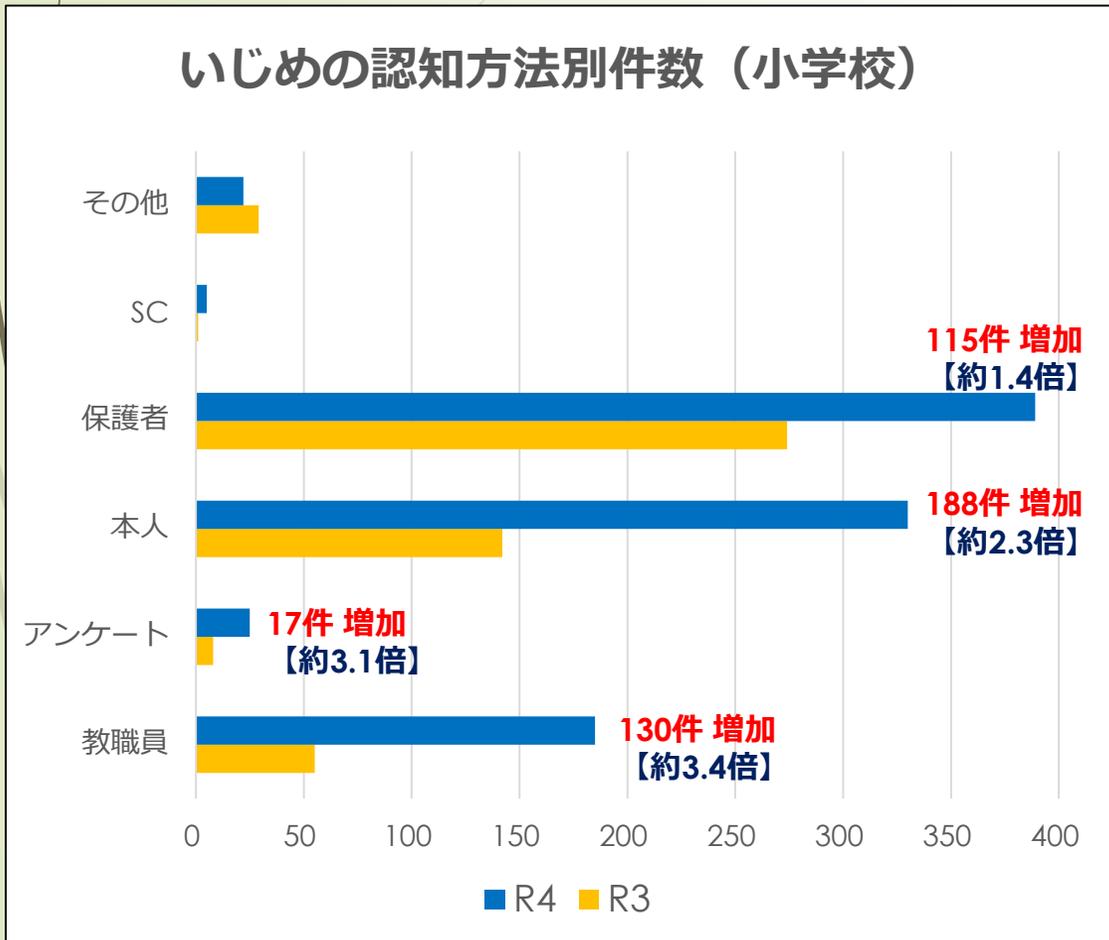
草津市立小中学校の いじめの認知状況

草津市立小中学校のいじめの認知件数（件）



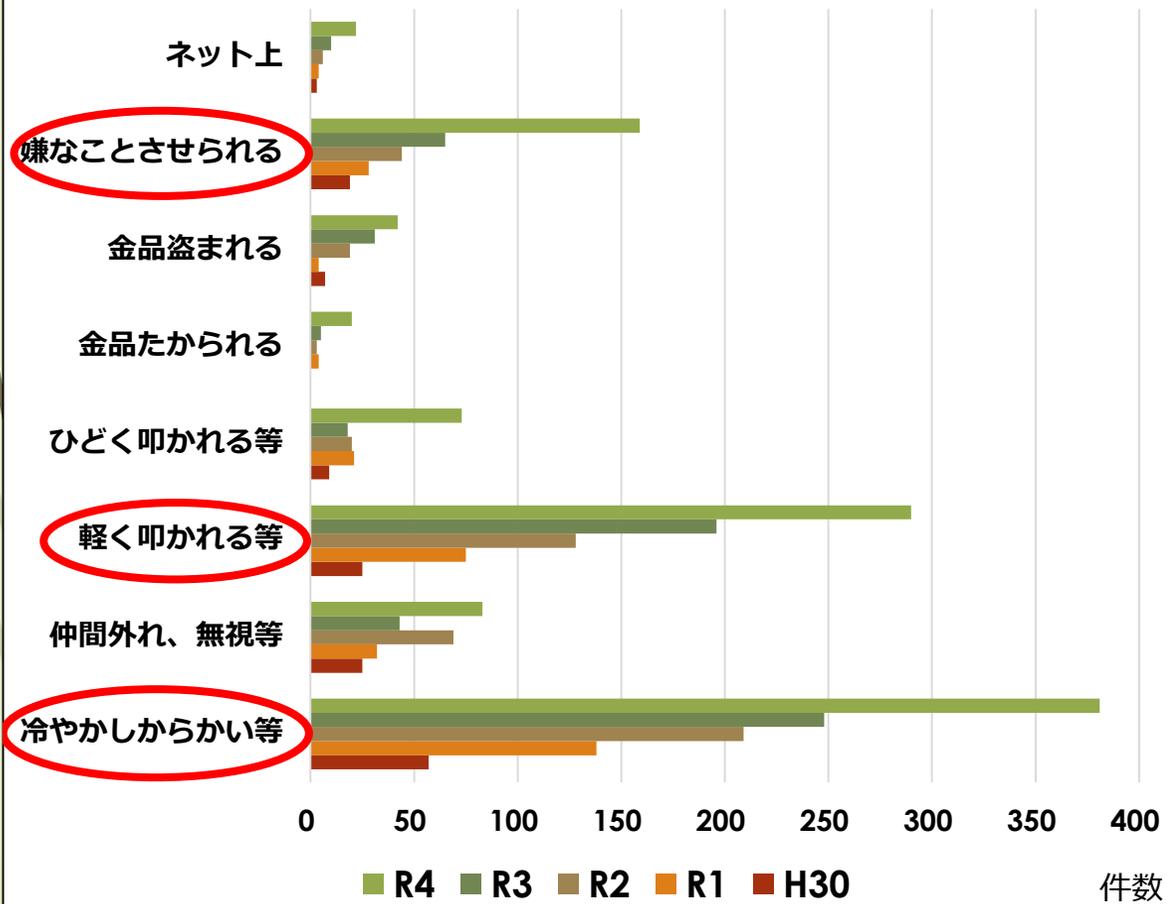
児童生徒の問題行動・不登校状況調査（月例報告）より

草津市立小中学校のいじめの認知方法別件数（R3～R4年度）

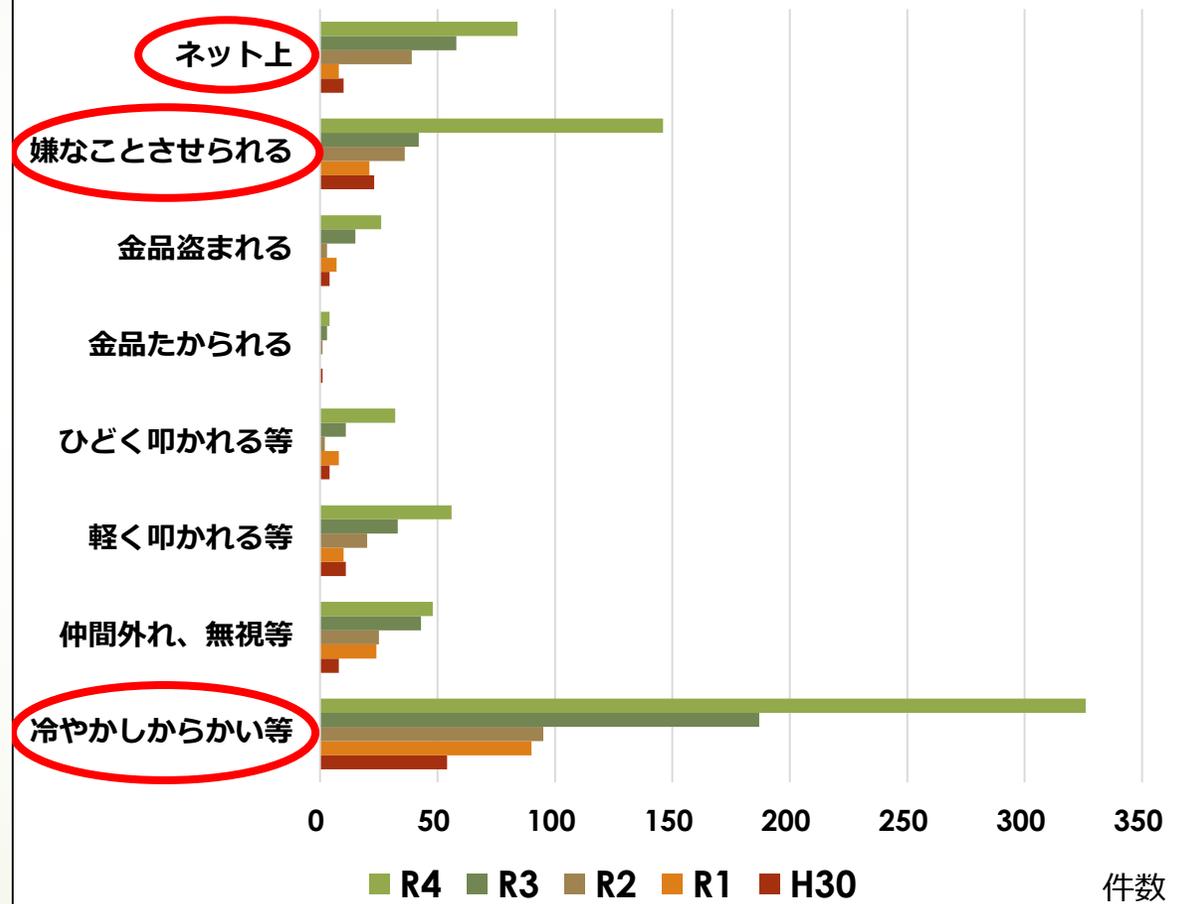


草津市立小中学校のいじめの態様（H30～R4年度）

いじめの態様（小学校）



いじめの態様（中学校）



いじめの認知件数【R3~R4】が増加している背景

▶ コロナ禍【R3】

- ・ 児童生徒の行動制限が厳しい
- ・ お互いに関わる機会が減少したまま

▶ いじめの件数**微増**

▶ WITHコロナ【R4】

- ・ 児童生徒の行動制限が緩和
- ・ 行事等含め、普段の学校生活で児童生徒間に関わる機会が増加

▶ いじめの件数**増加**

▶ 学校において、いじめを見逃さない意識や組織的な対応が向上

▶ いじめの発生時、学校内で把握・対応するケースが**増加**

▶ 児童生徒が家に持ち帰り、保護者に相談するケースが**微増**



令和5年度の重点 【初期対応と未然防止の両輪】

- ① 学校の初期対応力の強化
- ② 子どもの主体性のさらなる向上
(= 未然防止)



重点①
学校の初期対応力の強化
について

聞き取りシート (草津市内のある学校で使用)

| | | | | | | |
|----------------------------------|------|--------|------|------|--------|--------|
| 聞き取り日時 | | 指導者 | | | | |
| 聞き取り児童 | | | | | | |
| 事案(箇条書き でよい) | | | | | | |
| いつ | 月 | 日 () | 時間帯 | | | |
| どこで | 教室 | WS・階段 | 運動場 | 体育館 | トイレ | その他() |
| 誰が、誰に | (被害) | | | (加害) | | |
| 何があった、 なぜ、 どのように (事実のみ) | | | | | | |
| 裏面へ | | | | | | |
| 備考 | | | | | | |
| 認知の方法 | 教師 | お話を聞いて | 本人 | 保護者 | その他() | |
| 確認欄 | 校長 | 教頭 | 主幹教諭 | 生徒指導 | 学年主任 | |
| | | | | | | |

初期対応がうまくいった事例

- ▶ いじめ被害の児童の保護者が事案の対応について訴えたいことがあり、管理職に直接、電話連絡をしてきた。この学校では、聞き取りシートを用いて、管理職まで本事案について報告ができていたため、管理職は本事案について把握していた。このことで、始めは興奮状態であった保護者は、今後の対応について、学校と一緒に考えていく姿勢を見せた。

※聞き取りシートの活用 → 円滑な情報共有 →
丁寧な初期対応（組織的対応）

草津市いじめ対応マニュアルの改訂について

①事例の追加

※SNS関連のいじめ

➤ 事例

- 生徒A（女子）は生徒B（男子）のことをよく思っていなく、別人の女性を偽った、なりすましのアカウントから、SNS上でBに接触した。そのやりとりの中で、AはBに裸の写真を送ってほしいという話をし、Bはそれに応じた。AはBから入手した裸の写真を仲の良い複数の友人に送信した。学校は当事者への聞き取りと指導を進めるとともに、事案の内容から、早急に警察と連携して対応した。

➤ ポイント

- SNSトラブルについては、すべてを学校で対応しようとするのは不可能です。事案の内容（写真の拡散、誹謗中傷等）を踏まえ、適切に警察へ相談を行い、連携を図る必要があります。また、スマートフォンを持たせているのは、保護者の責任であることから、その使い方について、学校だけでなく、家庭でも指導を行うよう、保護者に求めていく必要があります。

②いじめ対応フローチャートの追加 → 別紙



聞き取りシート、マニュアルの周知

生徒指導主事主任会



各校で校内研修

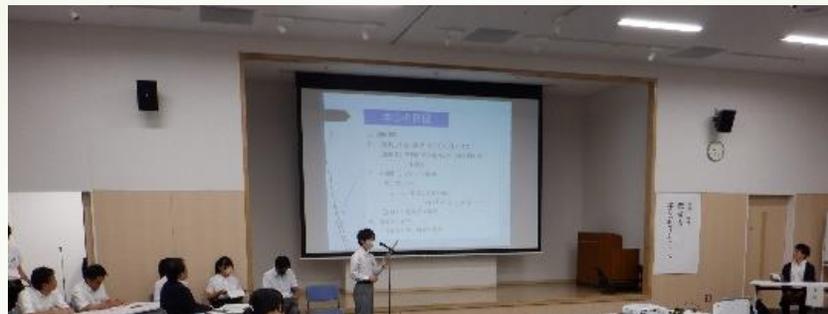


全ての教員への周知及び浸透

重点②

子どもの主体性のさらなる向上
(=未然防止)

8 / 17 (木) 草津市こどもサミット (昨年度に続き2回目) を開催



テーマ「よりよい学校にするために、 わたしたちにできること！」

市内中学校の生徒会代表生徒と教員が集まり、それぞれ学校の取組を紹介しながら、情報交換を行い、魅力ある学校づくりに向けて、自分たちにできることは何かを議論した。また、今年度は司会進行など、運営については希望により、生徒が行った。

●生徒の意見

- ・新しいことにチャレンジしていきたい
- ・他校の取組との比較や、校内アンケートによる評価で全校生徒にきちんと納得してもらうことが大切だ
- ・先生に個々の意見を拾い上げてもらえない

●先生の意見

- ・行事等の取組を計画する際、子どもたちにリスク面を伝え、話し合いながら一緒に考えていきたい

サミット後、各校で議論を深めた結果

合意形成

- ▶ 全校生徒から意見を聞いて、それをいろいろな角度から考える
- ▶ 生徒がアイデアを出して、大規模な行事を開催する

事後評価

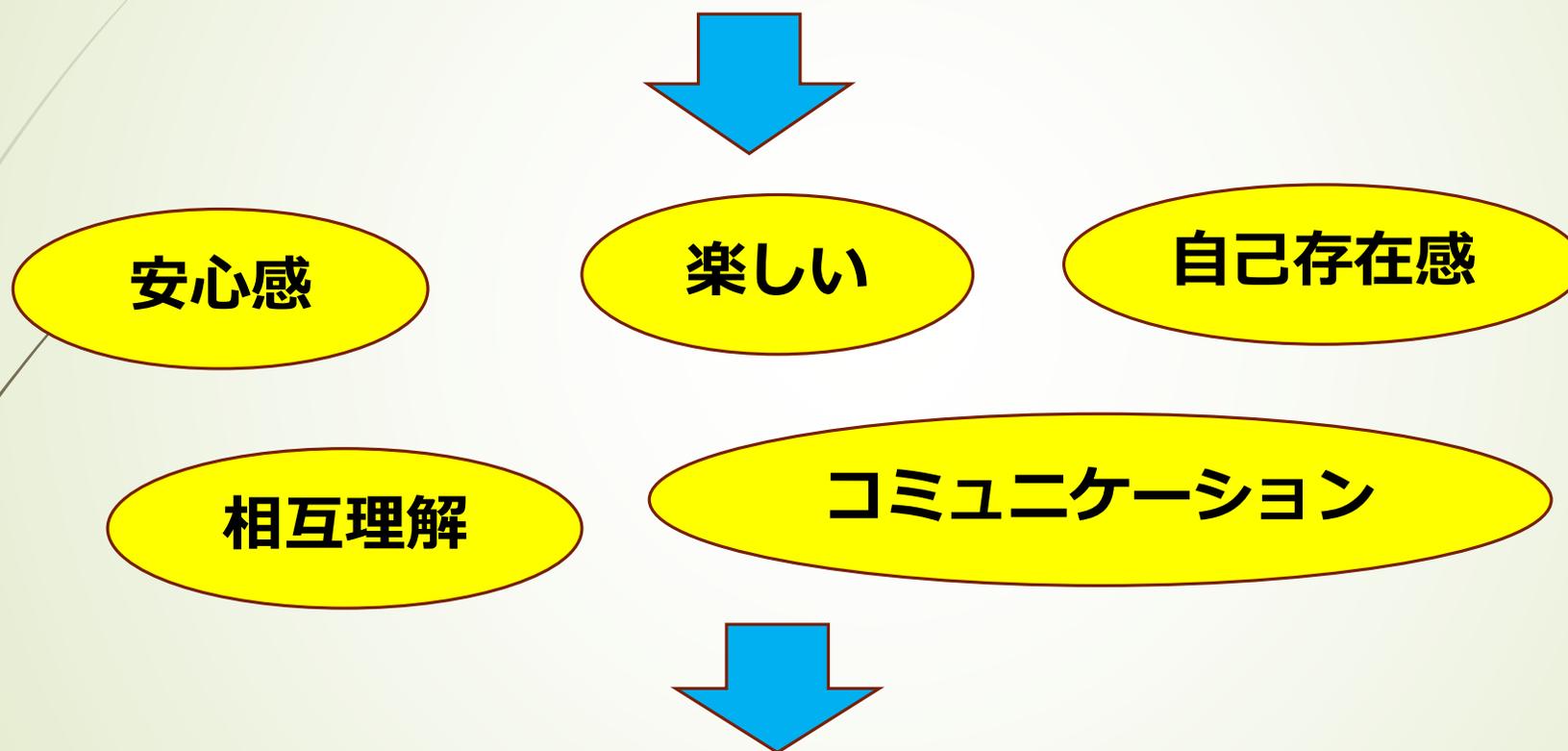
- ▶ イベント、行事などを行った後、生徒の意見を取り入れ、さらなる高みを目指すこと
- ▶ PC等を用いたアンケート機能とフィードバックシステムの導入



- ① **多くの意見を吸い上げること**
- ② **事後アンケート等の実施によるフィードバックを行い、改善を図る**

子ども主体の取組の意義

子どもたちによる安心、安全で魅力ある学校づくりの推進



いじめの未然防止につながる「学校風土」の醸成

ご清聴ありがとうございました。

